

横浜市内で活動する団体の 国土交通大臣表彰受賞が決定しました

～釜利谷赤坂公園愛護会(金沢区)、荒井沢市民の森愛護会(栄区)、
和泉川源流を楽しむ会(瀬谷区)、グリーンコーポ篠原「花と緑の会」(港北区)～

「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰は、花と緑の愛護に顕著な功績のあった民間団体に対し、その功績をたたえ、国民運動としての緑化推進活動の模範として表彰するものです。

今回、横浜市内で活動する4つの団体の第33回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰受賞が決定しましたのでお知らせします。

1 第33回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰について

「みどりの日」の制定の趣旨を踏まえ、国際花と緑の博覧会開催の理念を継承し、緑を守り育てる国民運動をさらに積極的に推進していくため、花と緑の愛護に顕著な功績のあった民間団体に対し、その功績をたたえ、緑化推進活動の模範として表彰するものです。

2 受賞団体数 81 団体

3 横浜市の受賞団体について

かま り や 釜利谷赤坂公園愛護会(金沢区)

当愛護会は昭和48年3月より活動を始め、現在会員約15名で組織され、50年近く地域に開かれた活動を行っています。釜利谷赤坂公園の樹木の手入れ、花壇の管理、除草・清掃等を月に3～4回作業し、継続して行っています。特に花壇管理に力を注いでおり、季節ごとに花苗の植替えを行い、四季を織りなす景観がとてもきれいに整備され、公園を訪れる人々を魅了しています。さらに樹名板づくりや焼き芋イベントを行い、地域の子供たちも参加して地域交流活動を行っています。

「安全・安心・快適な公園を作ろう」を長期ビジョンに掲げ、自治会と愛護会が協力して過ごしやすい公園づくりを心掛け、目標を共有して公園の維持、美化活動に積極的に取り組んでいます。



あらいさわ

荒井沢 市民の森愛護会(栄区)

当団体は平成10年5月から活動し、現在28名で樹木の手入れ、清掃等を行っています。樹木の手入れや草刈等の後には炭焼きを行っています。またクルミなどの植樹も行い市民の森の保全活動に努めています。

活動終了後には活動日誌に問題点などを記入し、次回以降の活動への反映に努めています。

荒井沢市民の森に親しみを持っていただくよう地域の方とインストラクターを招き、市民の森の野草見学ツアーを開催したり、地域のコミュニティ紙などを活用して市民の森や愛護会の活動を紹介したりもしています。

また近隣小学校や栄区役所と連携し、体験学習として田植えや稲刈り等を行い、収穫した作物で芋煮会などを開催し、多くの市民の方々に楽しんでいただいています。このような地域交流を積極的に行っていることから平成18年には栄区長表彰も受賞しました。



いずみがわ

和泉川 源流を楽しむ会(瀬谷区)

当愛護会は、昭和56年に『瀬谷の緑を育てる会』として結成しました。その後、水の大切さを実感し、現在の会名としました。(水辺愛護会制度登録は平成9年)

原風景をとどめている瀬谷市民の森の素晴らしさを共感し合う仲間と、和泉川源流域の保全を目的とした活動をしています。

清掃や貴重な植物の保護と観察、生き物調査等を行うほか、月1回の定例観察会は自然に関心を寄せられる方々が気軽に参加されています。

植物、昆虫、鳥に詳しい会員が案内・説明を行う事によって、自然に対する理解と興味を深めています。

自然を愛する地域住民とのネットワークが広がることを切に願う活動を続けています。



グリーンコーポ篠原「花と緑の会」(港北区)

当会は、平成22年より地域の皆さまとマンション敷地内の空き地を整備し緑化活動を始め、雨天を除き毎週日曜日に集まり、花の手入れや水やりなど活発に活動しています。最初は空き地であった広場に芝生を敷き、敷石を配置し、花壇の整備を行ってまいりました。花壇にはバラのアーチやパーゴラを設置し、広場には多くの椅子・テーブルを配置するなど、花々を眺めながらゆっくりとくつろいでもらえるよう工夫しており、防災訓練や各種イベントの会場として様々な世代の交流の場となっています。また、毎月の活動の様子や花の話題などを、「花と緑の会通信」として地域への情報発信に努めています。

さらに、港北区内で2013年から実施している「港北オープンガーデン」にも第2回から8年にわたり参加し、開催時には多くの人々が訪れ、季節の花を楽しんでいただいています。



【参考】感謝状の授与について

5月21日(土)の第33回全国「みどりの愛護」のつどい(奈良県コンベンションセンター)において感謝状授与等が行なわれます。

【参考】第33回全国「みどりの愛護」のつどいについて

1 開催趣旨

全国「みどりの愛護」のつどいは、「みどりの日」制定の趣旨を踏まえ、平素から緑の保全育成に携わる方々が一堂につどい、広く都市緑化意識の高揚を図り、緑豊かな潤いのある住みよい環境づくりを推進することを目的として、平成2年から開催されています。

第33回目となる今回は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、会場での行事参加者を、奈良県内の受賞団体などの関係者等に限定し、感染防止対策を徹底して開催されます。

なお、奈良県外の関係者につきましては、オンラインによる参加をいただくこととしております。

2 主 催 第33回全国「みどりの愛護」のつどい実行委員会(国土交通省、奈良県、奈良市)

3 後 援 全国知事会、全国市長会、全国町村会

4 開 催 日 令和4年5月21日(土)午前

5 会 場 奈良県コンベンションセンター、国営平城宮跡歴史公園

6 行事内容 ・式典
「みどりの愛護」功労者表彰

・記念植樹等

7 行事参加者 約150名(予定)

※ 今後の新型コロナウイルス感染症感染拡大の状況により、内容等が変更される場合があります。

お問合せ先

【表彰全体について】

環境創造局政策課みどり政策調整担当課長 岩間 隆男 Tel 045-671-2473

【釜利谷赤坂公園愛護会について】

金沢区金沢土木事務所副所長 杉本 彰 Tel 045-781-2511

【荒井沢市民の森愛護会について】

環境創造局南部公園緑地事務所長 緒賀 道夫 Tel 045-831-8484

【和泉川源流を楽しむ会について】

道路局河川企画課長 高橋 陽太 Tel 045-671-2818

【グリーンコーポ篠原「花と緑の会」について】

(公財)横浜市緑の協会緑化推進課長 ひやま 檜山 敏浩 Tel 045-228-9497

